

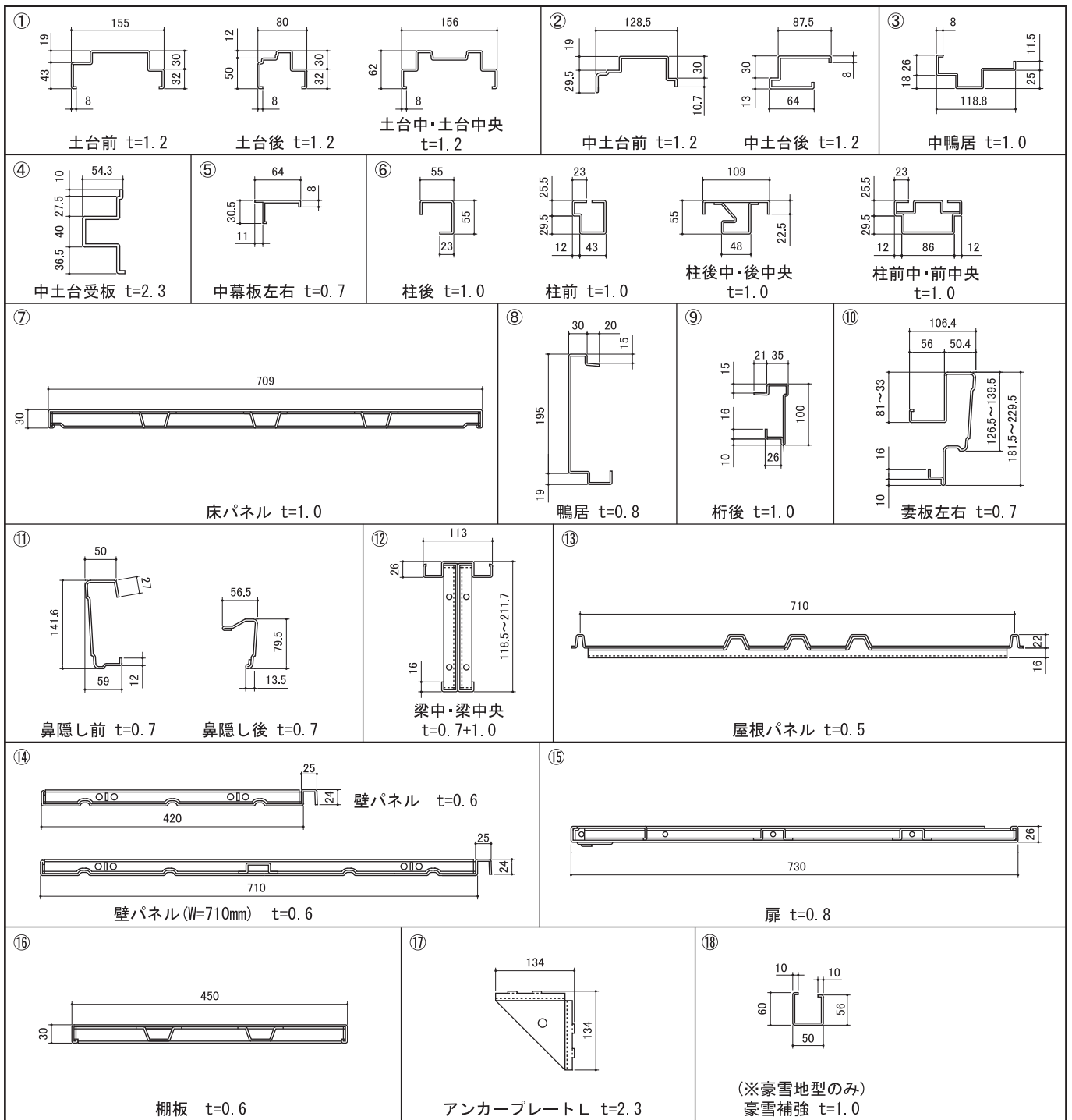
① 機種

NO.	機種	床面積	間口	奥行	積雪強度
1	NXN-08WL	N×0.78㎡(0.24坪)	820mm	950mm	<ul style="list-style-type: none"> ・一般型・多雪地型共通仕様：3100N/㎡ ・豪雪地型：4500N/㎡ (安全のため、一般型・多雪地型は1m以上、豪雪地型は1.3m以上積もらないように雪降しをして下さい。)

② 主要部材仕様

品番	主要部材	材質	呼び厚さ(mm)
①	土台枠	溶融亜鉛めっき鋼板/F12(JIS G 3302)	1.2
②	中土台前後	〃	1.2
③	中鴨居	〃	1.0
④	中土台受板	〃	2.3
⑤	中幕板左右	〃	0.7
⑥	柱	〃	1.0
⑦	床パネル	〃	1.0
⑧	鴨居	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板/Y10(JIS G 3317)	0.8
⑨	桁後	〃	1.0
⑩	妻板左右	〃	0.7
⑪	鼻隠し前後	〃	0.7
⑫	梁中・梁中央	溶融亜鉛めっき鋼板/F12 + 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板/Y10	0.7+1.0
⑬	屋根パネル	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板/Y10(JIS G 3317)	0.5
⑭	壁パネル	溶融亜鉛めっき鋼板/F12(JIS G 3302)	0.6
⑮	扉	〃	0.8
⑯	棚板	〃	0.6
⑰	アンカープレートL	〃	2.3
⑱	※豪雪補強	〃	1.0

※印は豪雪地型のみ



③ その他の部品仕様

部 品 名	材 質	表 面 処 理 ・ 色
ボルト	冷間圧造用炭素鋼線材 (SWRCH 10R)	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn8 (三価)+ZECコートまたはEp-Fe/Zn [4-C2]
ネジ板	冷間圧延鋼板	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn8 (三価)+ZECコート
棚 フック	冷間圧延鋼板	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn [4-C2]
把手	A E S樹脂	ファインシルバー
ガイドリング	A E S樹脂	ファインシルバー
錠	亜鉛合金ダイカスト 2種	ニッケル-クロムめっき Ep-Zn/Cu+Ni, Cr [10]
鍵	黄銅板 (C2801P-H)	ニッケルめっき Ep-Bs/Ni [5]
妻板キャップ	アルミニウム合金ダイカスト 12種	ミストグレー (成形後、塗装)
換気ガラリ	A E S樹脂	ミストグレー
ボルトキャップ	A E S樹脂	ミストグレー
ヒンジ	ステンレス鋼板 (SUS304)	—
ラッチ	ポリアセタール樹脂	—

④ 表面処理及び塗装

- (1) 塗装する素地は下地処理をするものとし、脱脂、水洗工程を経て化成処理をしております。
- (2) 塗装は高性能ウレタン樹脂を使用し、静電塗装後熱風乾燥炉にて焼付けます。
- (3) 膜厚及び塗装色は下表に示す通りです。

塗 装 部 品	膜 厚		塗 装 色 (マンセル番号)
	屋 外 面	屋 内 面	
土 台 枠 (※)	30 μ m 以上	25 μ m 以上	ミ ス ト グ レ ー (N 7)
中 土 台 前	"	"	
中 土 台 後 (※)	25 μ m 以上	20 μ m 以上	
中 鴨 居	30 μ m 以上	25 μ m 以上	
中 土 台 受 板 (※)	25 μ m 以上	20 μ m 以上	
中 幕 板 左 右 (※)	"	"	
柱	30 μ m 以上	25 μ m 以上	
床 パ ネ ル (※)	25 μ m 以上	"	
屋 根 パ ネ ル (※)	30 μ m 以上	"	
梁 中・梁 中 央 (※)	"	"	
壁 パ ネ ル	"	" (※)	
棚 板 (※※)	—	20 μ m 以上	
アンカープレート (※)	25 μ m 以上	—	
鴨 居	30 μ m 以上	25 μ m 以上	
桁 後	"	"	
妻 板 左 右	"	"	
鼻 隠 し 前 後	"	"	
扉	"	"	プ レ ミ ア ム グ レ ー (一)

※印の塗装は、アクリル樹脂を使用
 ※※印の塗装は、高耐候性粉体ポリエステル樹脂、又はアクリル樹脂を使用

⑤ 耐 久 性

◎ 塗装面

(1) 硬 さ 試 験	硬度2Hの鉛筆引っかき試験 (JIS K 5600) に耐えること。
(2) 付 着 性 試 験	100/100基盤目試験 (JIS K 5600) に耐えること。
(3) 耐 お も り 落 下 性 試 験	撃芯直径12.7mmに500mmの高さから500gのおもりを落とす耐おもり落下性試験 (JIS K 5600) に耐えること。
(4) 耐 塩 水 性 試 験	約20℃の3%の塩水に100時間浸す耐塩水性試験 (JIS K 5600) に耐えること。
(5) 耐 食 性 試 験	5%の塩水噴霧試験法 (JIS Z 2371) に500時間耐えること。
(6) 耐 候 性 試 験	サンシャインウェザーメーターによる促進暴露試験 (JIS A 1415) で300時間の照射に耐えること。

◎ 扉の可動

(7) 耐 久 性 試 験	扉は、開閉繰返し性試験 (JIS A 6603) に耐えること。 錠には、雨水およびホコリの浸入防止カバーを取り付け長期の使用に耐えること。
---------------	---